



ダイハツ	ムーブ	
	ムーブ	カスタム
スバル	ステラ	

専用シートカバー取付説明書

この度は弊社製品をお買い上げ頂きまして、誠に有難うございます。

- * 説明書内にシートカバーの取付・取り扱い・返品等に関する注意事項等が記載されていますので、装着前に必ずお読み下さい。
- * 本書中の掲載写真はサンプル品を使用しているため製品とデザインは異なります。

0690/0691

シートカバー装着前に必ずお読みください

- 本製品が届きましたらシートカバーを装着される前に内容物を確認の上、必ずお客様のお車に仮合わせ（シートに装着せずに）して、お客様のシートパターンに合うことをご確認ください。シートカバーの各部品がどの位置かが分かるように、番号の入ったタグが商品の裏側に付けられています。仮合わせの時点で製品に何らかの支障があった場合は、お買上げ頂いた販売店、または当社までご連絡ください。事前に連絡がなく装着された後での、製品の返品・交換等につきましてはお受け出来ません。またお客様の注文間違いによる製品の返品・交換等は、商品到着後1週間以内とさせていただきますので予めご了承ください。
- 本製品は梱包時にシワが入る場合があります。ある程度は正常に取付けをおこなうことで生地が伸びシワは解消できますが、まれに跡が残る場合がありますので予めご了承ください。
- 本製品は純正シートの機能（チャイルドシート固定穴やバックテーブル等）を損なわないように製造されていますので、背もたれや座面に穴加工されているタイプのシートカバーがあります。
- 万が一ご注文された商品と違う、不良品、配送中の破損等、ございましたらご連絡ください。速やかに商品を交換もしくは修理対応させていただきます。
※交換対応商品が在庫切れの場合は多少お時間を頂く事があります。
- 箱の多少の破損、商品の細かい傷、シワ等は不具合対象外とさせていただきます。また装着後の商品は仕様違い及び初期不良を除き、返品・交換等致しませんので装着前に必ず確認等してください。また、装着時に加工等された商品に関しましても返品・交換等は致しませんので予めご了承ください。

警告 サイドエアバッグについて

- 本製品は1列目背もたれの両横部分とSRSサイドエアバッグ開閉部分に、SRSサイドエアバッグ対応の縫製系を使用しています。（SRSサイドエアバッグの有無に関わらず全製品）その部分は他の部位に比べて縫製系が切れやすくなっています。装着時には過度の力がかからないようにご注意ください。また、シートカバーを正しく取付けないと衝突時などにサイドエアバッグが正常に作動せず重大な傷害に及び、最悪の場合死亡につながる恐れがあり危険です。
※サイドエアバッグの対応基準は、正式な安全基準がないため自社独自の対応規格となります。

本製品に関する注意事項

- 本革やジーンズ等の染料を使用している素材や、新聞紙等の印刷物を長時間接触させると、本製品に色移りや、本革側に粘着が生じることがあります。また衣類製品側にも色移りが生じる場合があります。
- 本製品を直射日光に長時間当てられると、表面のツヤ変化・変形・変色の原因となります。また、高温、多湿のところ放置されると硬化や収縮、カビが発生することがあります。
- 本製品は石油を原材料として使用しているため、臭いがきつく残る場合があります。装着されてから約1～2週間で臭いは緩和されますが、気になる場合は本製品を換気の良い所に1週間程保管してから装着してください。また本製品は塩化ビニールレザーを使用していますので、燃焼時には塩化水素が発生します。廃棄される場合は個人で焼却せずに必ず各自治体の処理方法に従ってください。

シートカバー装着時の注意事項

- 当社のシートカバーはフィッティングを重視して製造しています。カバー全体に均一に力をかけるようにして装着してください。またシートカバーを固定するパーツは強く引っ張り過ぎると抜けたり、切れる恐れがありますのでご注意ください。
- シートカバー(スエードタイプ・本革パンチングタイプ・ECTクラッツィオ・アルカンターラセレクト)の背もたれ上部に加工されているヘッドレストの穴は生地が伸びにくいいため、無理に入れ込もうとすると破れる恐れがあります。
- 取付説明書の順番通りにシートカバーを装着して頂くと、作業がスムーズに進みますので、当社では順番通りの装着をお勧めしています。またシートカバーの装着は明るく、地面が平らな広いスペースで行ってください。装着時に長時間車内のライト類を点灯状態(扉を開放されたまま)にされると、バッテリーがあがったり弱まる原因となります。
- フィッティング性を重視した当社のシートカバーを取付けた後、元に戻した際(シートカバーを取り外した際)にシート自体にシワが残る場合があります。予めご了承ください。
- 製品の改良等により、本取付説明書の記載内容と一部製品の仕様が異なる場合があります。その際はご迷惑をお掛けしますが当社までお問い合わせください。
- 当社のシートカバーは純正シートの機能を損なわないように製造していますが、シートカバーを装着することにより、シートにカバーの厚みが増す、カバー同士の摩擦が生じる等の原因で、シートの正常な動作を妨げる場合があります。予めご了承ください。
- 取り付け時(シート本体のパーツを取り外す場合等)及び、使用時におきた車輛への損傷、車輛の不具合、人体への怪我(シートカバー装着時に、シート本体の金属部分やプラスチック部分に接触する等して怪我をする恐れがあります)について、当社では一切責任を負えませんので、十分に安全に注意し、取付けを行ってください。
またいかなる場合でも商品代金、送料を保証の上限とし、それ以外の保証はできませんので、予めご了承ください。購入に付随する、商品の交換取付け、取付け取り外し等の工賃、取付け等の不具合による工賃等の費用負担、交通費、遺失利益などの直接、間接の損害につきましても一切の責任を負わないものとします。

「快適カーライフ空間創造企業」



株式会社 イレブンインターナショナル

〒580-0016 大阪府松原市上田8丁目15番12号

TEL 072-330-8000

シートカバー取付補助ビニール使用方法

背もたれ部分の取り付けの際、シート本体とシートカバーの摩擦によりスムーズに入らない場合があります。その場合、付属のビニールを下記の手順で使用していただくと取り付けが容易になります。

※ベーシックシリーズには取り付け補助ビニールは付属していません。



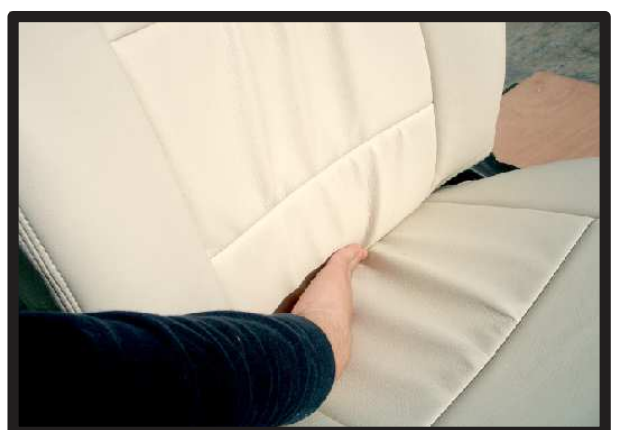
①背もたれカバーを取り付ける前に補助ビニールを被せます。補助ビニールは後で取り外すのでカッター等で両サイドに切込みを入れて取り外し易いようにしておきます。



④ヘッドレストの台座部分を穴から取り出します。生地のはりを利用して横からもぐりこますように取り出して下さい。無理に入れると破れる恐れがありますのでご注意ください。



②背もたれのカバーをシートのラインに合わせながら被せます。肩口部分にたるみがなくなるまでしっかりと入れ込んで下さい。



⑤背もたれの曲線にたるみなくカバーを密着させながらマジックテープ部を背面と座面の間に入れ込みます。
(車種により取付方法が異なります。)



③シートカバーをしっかり入れ込むことができたなら、ビニールを引っ張り取り外します。



⑥入れ込んだ部分を取り出しマジックテープで固定します。

コンビニフックについて

- ・一部車種の1列目背面にあるフック部分は穴あけ加工がされておられません。
フックがネジで固定されている場合、カバーを加工すれば使用することが可能です。
- ※フックがツメのみで固定されている場合、フック取り外しの際に破損させてしまう恐れがあります。また、フック取り付け部とシートとの隙間が狭すぎる場合、カバーの生地が挟み込めず、加工には適さない場合があります。

座面カバー装着のポイント



①カバーをシートのラインに合わせてかぶせます。



④ベルトは、写真のようにたるんだ状態から（⑤へ進む）



②背もたれと座面の隙間に生地を入れ込みます。



⑤写真のように、ベルトが真っ直ぐに張る状態まで締めます。
この際に、前後に反動を付ける等、必要以上の力で作業を行うと切れる恐れがありますので注意して下さい。



③シートの角に当たる部分にたるみがないように、しっかりとカバーをかぶせます。
この角を合わせる事で、カバー全体の仕上がりに影響が出ます。



⑥ベルトは、カバーの浮きを防ぐ為の補助的なものですので、必要以上に締め過ぎると、乗り降りを繰り返すうちにカバーとベルトが引張られて切れる恐れがあります。



⑦カバーを、シートのか（先端）と側面のラインを合わせて装着すると、このようになります。

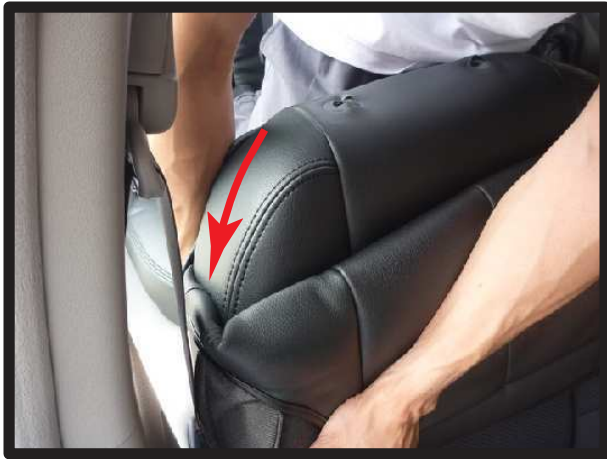


⑧シート先端から、背もたれへかけてのラインは、このようになります。



⑨全体のラインをしっかり合わせる事で、カバー装着後の仕上がりが良くなります。

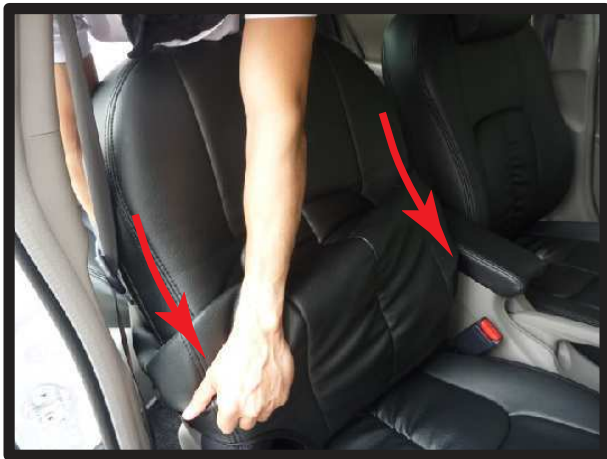
背もたれカバー装着のポイント（シートカバーの構造に



①背もたれカバーを半分裏返した状態でシートにかぶせます。写真のように肩口をしっかりと入れ込み、シートとカバーのラインを合わせます。



④カバーを引き下げただけの状態ですと写真のように、シートの張り出し感が出なかったり、側面にシワが出てしまいます。



②カバーを左右均等に引き下げます。



⑤シートのシワを無くしたり、シートの立体感を出す為に、側面の生地をシートのラインに沿わせながら、前側へ寄せます。



③カバーを引き下げるとこのようになります。

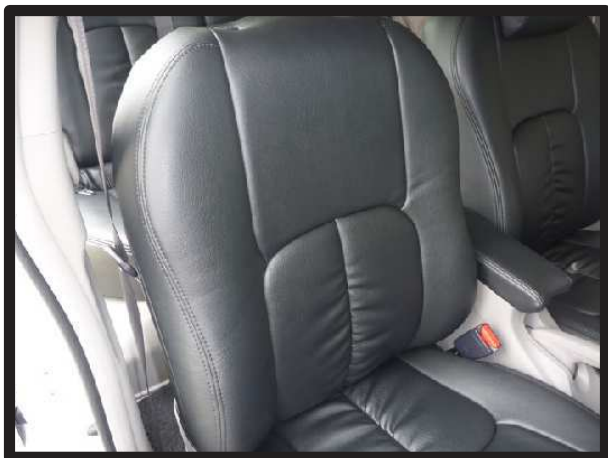


⑥⑤の状態を維持しながら、前面の生地を、背もたれと座面の隙間に入れ込みます。

よって、形状に若干の違いがあります)



⑦入れ込んだ生地を後側から引き出します。この際、前側の生地を押さえながら、後側の生地を引っ張る事でよりシートの立体感が出せるようになります。



⑧取付説明書の取り付け方法に従い、カバーを固定すると、このようになります。



⑨背もたれの側面のシワと、シートの立体感は、写真のようになります。

ヘッドレストカバー装着のポイント



①ヘッドレストにカバーを装着する際は、写真のようにカバーを裏返した状態でかぶせます。



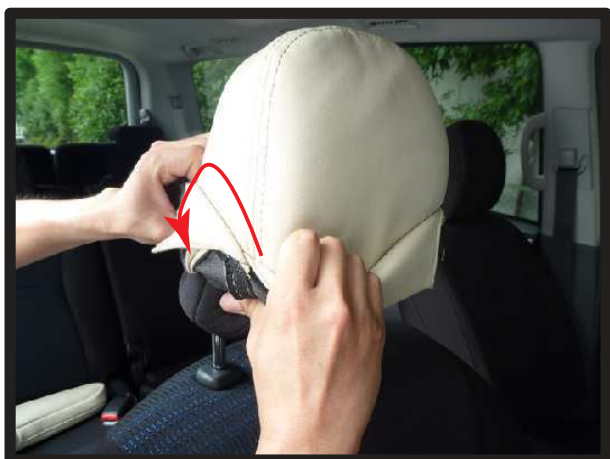
④ヘッドレストのシャフト（軸）に当たる部分の生地（赤矢印部）を持って引っ張らないで下さい。



②裏返したカバーをヘッドレストにかぶせていきます。
この際に、ヘッドレストとカバーの縫い代のラインをしっかり合わせると、次の作業がしやすくなります。



⑤写真のように、④の部分の生地を引っ張ると生地が破れる恐れがあります。



③裏返したカバーをめくるように、左右均等に引き下げます。
無理な力を掛けるとカバーが破れる恐れがありますので、慎重に作業して下さい。



⑥①～⑤に注意してヘッドレストにカバーをかぶせ、取付説明書の固定方法に従ってカバーを取り付けます。

アームレストカバー装着のポイント



①カバーを裏返し、縫い代に当たる生地を、写真のように一定方向へ折込みます。



④カバーをかぶせると、写真の矢印位置のように表面が整っていない事があります。これは、縫い代に当たる生地が、カバー内側で一定方向を向いていないからです。



②アームレストの先端をしっかりと入れて、カバーをかぶせます。



⑤④の状態を治す為に、写真のように表面が整っていない生地をつまみ、一定方向に縫い代が向くように調整します。



③アームレストを立てた状態で、カバーを真っ直ぐ引き下げます。



⑥表面の生地を整えると、写真のように装着感と見栄えが良くなります。

1 列目座面

*シートリフター付きの車は先にシートリフターのレバーを外します



①レバーを外す前にシートを最大限まで上げた状態にしておきます。レバーに付いているプラスチックのフタをヘラ等を使い外します。



④最初に、背もたれ裏側から座面下に回り込んでいる生地をシート本体から外します。座面裏のゴムを外す前にコネクタを外します。



②プラスチックのフタを外すとネジが2本あるので、ドライバーを使い外します。



⑤座面裏のゴムにコードが通っているので、コネクタを外さないとゴムが外せません。



③レバーを外した状態です。シートリフター付き車はレバーを外してから作業を行います。



⑥座面裏のゴムを金属バーから外します。
※ゴムを外した後、④で外したコネクタを再接続して下さい。



⑦助手席側はシートアンダートレイ用の金属バーにゴムが通っています。赤丸内のネジを外してゴムを外します。※ゴムを外した後、ネジは元に戻します。



⑩リクライニングレバーをカバーの加工穴から取り出します。



⑧シートのラインからずれないようにカバーをシート全体にかぶせます。



⑪リクライニングレバーを取り出した状態です。



⑨シートベルトの穴とカバーの穴の位置を合わせて、生地を中に入れ込みます。



⑫シートリフターをカバーの加工穴から取り出します。

1 列目座面 (続き)



⑬シート本体とプラスチックカバーの間に生地を入れ込みます。



⑭カバー後ろ側にあるヒモを固定します。図のようにヒモの片側で輪を作ります。



⑮背もたれと座面の隙間に生地を入れ込みます。背もたれの角度を調整して、入れ込みやすい位置で行って下さい。



⑯輪の中に反対側のヒモを通して引き絞ります。絞り込んでから座面後ろで固定します。



⑰入れ込んだ生地をシート背面から引き出します。



⑱固定した状態です。



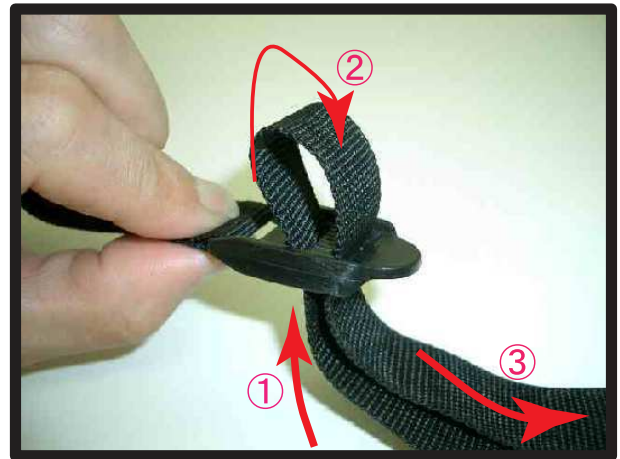
⑱側面後ろ側を包み込むように生地をかぶせます。



⑳ベルトを引いて固定します。強く引き過ぎるとベルトが切れる場合がありますので、ご注意ください。



㉑カバー後ろにあるマジックテープに側面から後ろに回り込んでいる生地を固定します。



㉒カバー前後にあるベルトは図の①から③の順に通し、③で通したベルトを引っ張る事で締まります。



㉓カバー前部にあるベルト（2本）を座面下のスライドレバーの上を通して背面に引き出します。座面カバー後部のベルトと固定します。



㉔カバーのラインを整えて運転席座面の完成です。助手席側も一部形状は違いますが、同様に取り付けます。

1 列目背もたれ

※助手席ショッピングフックはカバーを取り付ける事により使用できなくなります。



①背もたれカバーを付ける前に、アームレストを取り外します。側面にある丸いプラスチックパーツを外します。



④ヘッドレストを外します。背もたれカバーを半分ほど裏返してシートにかぶせます。ヘッドレストの台座とカバーの穴位置を合わせ、肩口までしっかりかぶせます。



②固定用ボルトをラチェットレンチを使用して外します。



⑤折り返していた半部分を左右均等に下まで引き下げます。



③背もたれ背面下の生地を背もたれ内側に折込ませます。



⑥ヘッドレストの台座部分を穴から取り出します。生地伸びを利用して横からもぐり込ますように取り出して下さい。無理に入れると破れる恐れがありますのでご注意下さい。



⑦背もたれと座面の隙間に生地を入れ込みます。



⑩カバー背面下に付いているゴムに付属のS字フックを取り付けます。



⑧入れ込んだ生地をカバーから引き出します。



⑪座面裏側の金属バーに引っかけて固定します。



⑨引き出した生地と背もたれ背面の生地をマジックテープで固定します。



⑫カバーのラインを整えて運転席背もたれの完成です。
助手席側も同様に取り付けます。

2 列目座面



①カバーをシートのラインに合わせてみます。



④カバーについているゴムに付属のS字フックを取り付けます。



②ラインからずれないようにカバーをシート全体にかぶせます。



⑩ゴムを座面裏の金属バーに引っかけて固定します。
前後のベルトを1列目と同様に固定します。



③背もたれと座面の隙間に生地を入れます。



⑥カバーのラインを整えて2列目座面の完成です。
助手席側も同様に取り付けます。

2列目背もたれ



①最初にカバーのファスナーを開きます。



④ヘッドレストの台座とリクライニングレバーを、1列目と同様に穴から取り出します。



②背もたれカバーを半分ほど裏返してシートにかぶせます。ヘッドレストの台座とカバーの穴位置を合わせ、肩口までしっかりかぶせます。



⑤背もたれ前面の生地を背もたれと座面の隙間に入れ込みます。



③折り返していたカバーを左右均等に下まで引き下げます。



⑥入れ込んだ生地を背面から引き出します。

2列目背もたれ続き



⑦ 8ページの⑥で引き出した生地と背もたれ背面の生地をマジックテープで固定します。



⑩ プラスチックの下にヘラ等を使用して、生地を入れ込みます。
※作業後ネジを締めます。



⑧ 左右の生地を寄せながらファスナーを閉じます。



⑪ カバーのラインを整えて2列目背もたれの完成です。
助手席側も同様に取り付けます。



⑨ 背面のスライドレバーを取り出します。
ネジを軽く緩めます。
※外しません。

アームレスト



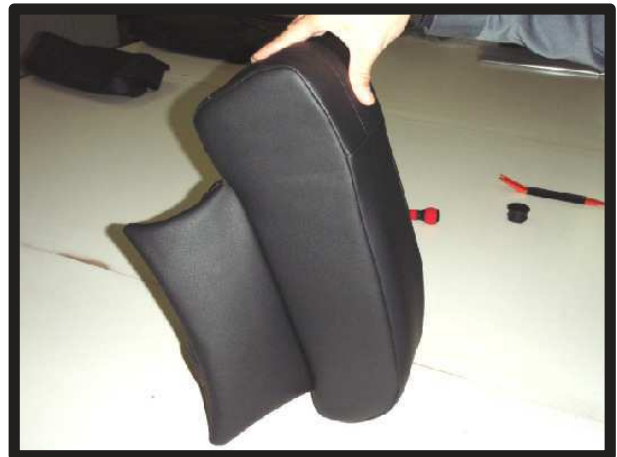
①ボックスのフタを開け、中にあるネジをドライバーで取り外します。



④カバーを半分ほど折り返し、アームレスト本体にカバーをかぶせます。前側からラインを合わせ、しっかりかぶせます。



②ネジを外すとボックスが取り外せま
す。前側にずらしながら外します。



⑤折り返していたカバーを左右均等に
後ろ側までかぶせます。



③ボックスの裏にフックが付いていま
す。



⑥ボックスが入っていた穴に生地を入
れ込みます。

アームレスト続き



⑦ボックス裏のフックをアームレスト本体の金具に引っかけた後、ボックス全体を戻します。



⑩フタの裏側にあるロック部分のプラスチックのネジをドライバーを使用し外します。



⑧生地をアームレスト本体とボックスの間に入れ込みます。
ヘラ等を使用すると微調整が出来ます。



⑪プラスチックパーツを外した状態で



⑨10ページの①で外したネジを戻します。生地の厚みが増しているためボックスを押さえながらネジを締めます。



⑫フタにカバーをかぶせます。
生地の伸びを利用して角から入れ込みます。



⑬カバーをかぶせた後、角からラインを整えます。



⑯アームレストを本体に戻します。
外した時と逆の手順で固定します。



⑭フタカバー内側の左右に付いているマジックテープを固定します。



⑰アームレスト後ろ側のファスナーを閉めます。



⑮⑩で外したプラスチックパーツを元に戻します。



⑱カバーのラインを整えてアームレストの完成です。

ヘッドレスト 1 列目



①カバーの前後を確認してからかぶせます。平らなプラスチック部品が付いている方が前です。カバーを半分ほど折り返してから、かぶせて下さい。



④平らなプラスチック部側を生地とともにフック部に入れ込みます。プラスチック部のみフックに入れ込んでもしっかり固定されませんのでご注意ください。(写真断面図)



②左右均等に下まで引き下げます。縫い目部分に力がかかりすぎると生地が破れる恐れがありますので、作業は慎重に行なって下さい。



⑤固定した状態です。表からは生地の手元が見えません。



③ヘッドレストを背もたれから取り外して、底面のカバーをかぶせます。プラスチックフックで固定します。



⑥ヘッドレストを背もたれに取り付け完成です。

ヘッドレスト 2 列目



- ⑦ヘッドレスト下部分よりカバーを入れ込んでいきます。
クッションを押しつぶしながら少しずつ、ヘッドレストに合わせます。



- ⑧左右均等に後ろまでかぶせませす。
縫い目部分に力がかかりすぎると生地が破れる恐れがありますので、作業は慎重に行なって下さい。

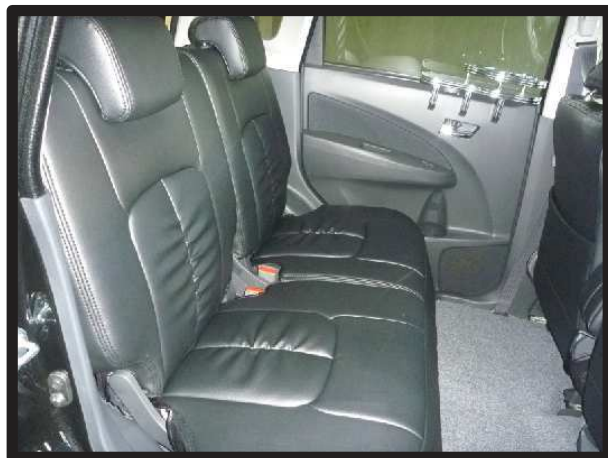


- ⑨1列目と同様に固定します。
ヘッドレストを背もたれに取り付け
完成です。

完成写真



1 列目



2 列目



背面



After Service

皆様の快適カーライフのために、安心できるアフターサービス

● 1年間保証・単品パーツ販売・生地の販売

- 1 保証期間であれば、故意でない通常使用における糸切れや生地の破れが生じた場合、無償修理させていただきます。

クラッツィオ キルティングタイプ・プロス クラッツィオ
プロスクラッツィオ タイプ2は対象外です。



- 2 シートカバーの補修及び単品パーツの販売をしています。

- 3 シートカバーと同色のソフトBioPVCレザーの販売をしています。

(巾135cm・メートル単位での販売となります)
クラッツィオ キルティングタイプは対象外です。



パーツ交換の際、お客様の製品の装着期間や生地の生産時期によって若干の色の違いが見られることがありますので予めご了承ください。

ご注文・お問合せは

株式会社 イレブンインターナショナル

〒580-0016 大阪府松原市上田8丁目15番12号

TEL 072-330-8000

…→ 生地別メンテナンス方法

クラッツィオシートカバーを永くお使い頂くための、生地別シートカバーのお手入れ方法

アルカンターラ・スエード

● ホコリや毛羽などの付着汚れ

エチケツブラシで軽くブラッシングして取り除いてください。

● 全体の汚れが気になる場合

40度程度のぬるま湯にしみこませ固く絞った布で全体を拭いてください。乾いたらエチケツブラシで毛並みを整えるようにブラッシングしてください。

このお手入れは月一回くらいの頻度で行うと効果的です。



本革パンチング・ECTの本革部分

普段は柔らかい布でやさしく拭き掃除をしてください。

または、市販されている本革クリーナーをご使用ください。

クリーナーは直接吹き付けるのではなく、やわらかい布などにつけてから(クリーナーの説明書に従ってください)、また使う前に必ず目立たない部分で試し拭きをしてください。

万が一変色したり風合いが変わってしまったりした場合、元には戻りません。

⚠️ ご注意

本革は非常にデリケートな素材です。熱や水に弱く、シミができたり変色してしまったりします。水やジュースなどをこぼした場合にはすぐにふき取り、お手入れを行ってください。長時間放置しておくと汚れやシミが取れなくなってしまいます。表面に積もったほこりは汚れの原因になります。掃除機でこまめに吸い取ってください。



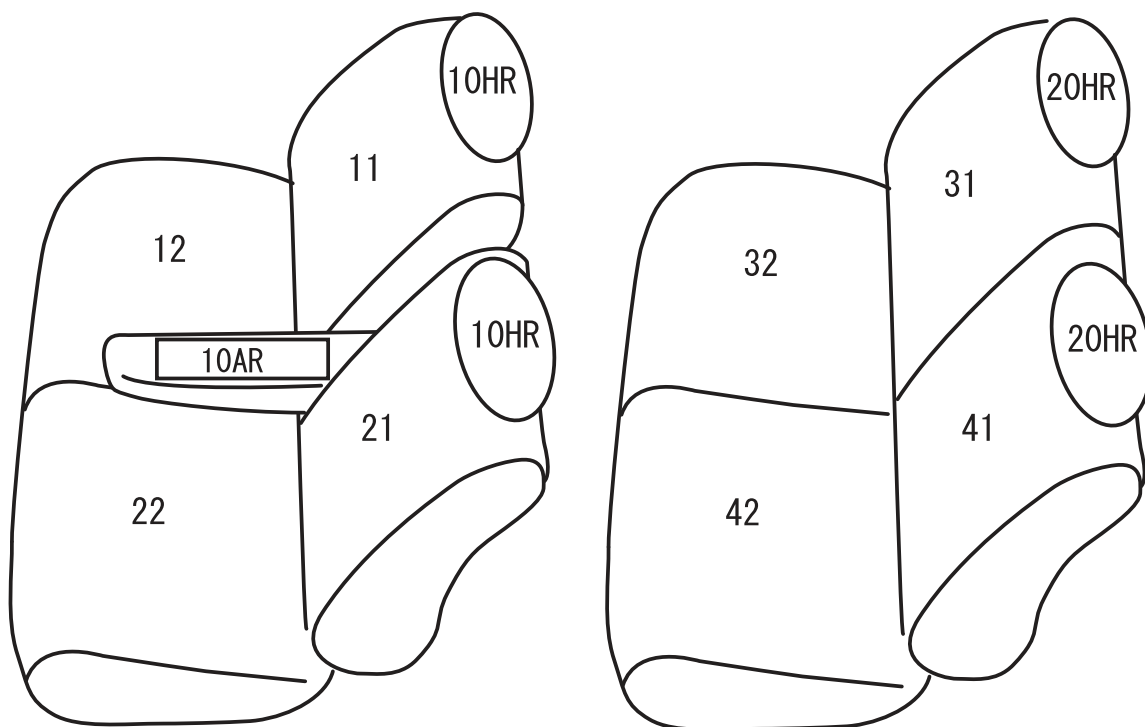
PVCLレザー

柔らかい布で乾拭きをしてください。

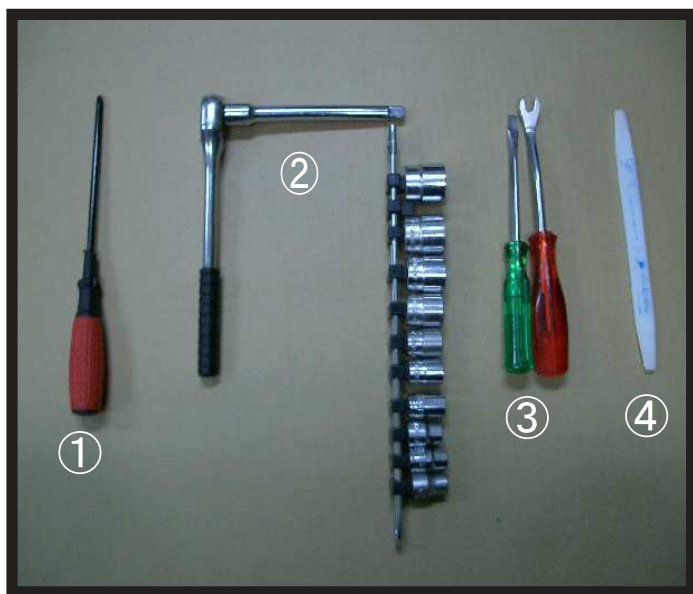
それでも汚れが取れない場合は水、もしくはぬるま湯で薄めた中性洗剤で拭き取り、水拭きをしてから乾いたウエス(布)で乾拭きしてください。



本製品シート形状とパーツの名称



取付必要工具



工具名

- ① +ドライバー
- ② ソケットレンチセット
- ③ ードライバーまたは内張り外し
- ④ ヘラ

*この車種では、①と②、④の工具を使用します。

*この車種では、③の工具は使用しません。